

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	環境バリアフリー小委員会	主 査 名：岩田 三千子 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境設計運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：岩田 三千子
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ 建築環境工学分野のバリアフリーデザインやユニバーサルデザインについて、研究会や見学会などの議論の場を設けて、当該分野の新たな研究課題の抽出と重要性を検討することを目的とする。 ・ 建築学会の計画系のバリアフリーおよびユニバーサルデザインについての研究者とも連携し、情報交換を行う。今後の研究活動についての目標設定を明確にしながら、メンバー各自がさらなる研究活動を行う。また、それらの成果について、アカデミックスタンダードとして発信する準備をする。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 有	
	主査：岩田三千子 (摂南大学) 幹事：安部信行 (八戸工業大学)、延原理恵 (京都教育大学) 委員：土川忠浩 (兵庫県立大学)、堀越哲美 (愛知産業大学)、土田義郎 (金沢工業大学)、村上泰浩 (崇城大学)、二井るり子 (有限会社プラネットワーク)、田中直人 (島根大学)、宮本雅子 (滋賀県立大学)、三上攻生 (日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	161,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv. aij. or. jp/kankyo/s18/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2015 年度大会におけるオーガナイズドセッションにて「環境バリアフリー (1)、(2)」のセッションを設け 8 件の発表に対して、環境バリアフリーに関する活発な議論を交わすことができた。 2. 小委員会ホームページを再構築し、環境バリアフリーに関する各委員の研究成果について紹介する「知っ得！環境バリアフリー」を整備し、身のまわりの生活に役立つ情報を提供する機会となっている。
委員会活動の問題点・課題	1. 大学教員は本務ほか多用であり、委員会開催の日程調整が困難になっている 2. 今後、若手の人材を増やしていきたい 3. 活動がやや消極的であるので、活発化させていきたい

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	本小委員会は、法律、条例、要綱などにおける高齢者や障がい者に対する建築環境工学分野の内容を把握することに関して、委員会内ではアカデミックスタンダードなどの、ルール・指標づくりを目標として活動を進めている。 本建築学会の計画系のバリアフリーおよびユニバーサルデザインに関する研究者とも連携し、情報交換を行って、今後の研究活動についての目標設定を明確にしながら、メンバー各自がさらなる研究活動を行うことが目的の一つである。2015 年度はメンバー11 名により委員会活動を開始した。 2015 年度は特に、小委員会のホームページに、各委員の研究成果を分かりやすい形で情報発信する活動を行った。 ホームページに「知っ得！環境バリアフリー」を設け、光、音、温熱、空気環境など、環境バリアフリーに関する情報提供の場として、外部へ発信するコンテンツを整備した。各委員が5 件程度の情報を持ち寄り、環境バリアフリーに関する身のまわりの生活に役立つ情報を提供している。 2015 年度大会では、オーガナイズドセッションにて、建築計画の研究者と連携した環境バリアフリーのセッションを設けた。音、光、温熱、空気環境の他、避難計画等に関しても発表があり、活発な議論を交わすことのできたセッションとなった。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。